

hanaako

[ハナコ特別編集]

TRIP

いい湯と、旬の味覚と。
日本各地の魅惑の宿へ。

Travel Around Nippon

ほっとする。きれいになる。

心なごむ、 日本の宿へ。

厳選、2017年オープンの個性的な宿。
和歌山へ、パンダとモダン温泉の旅。
今注目のレトロデザインに泊まる。
東京から近い海辺のリゾート。
温泉とワインを楽しむ、長野への旅。

北海道・ニセコ
高知・四万十川
和歌山・南紀白浜
など
日本各地の宿へ

MAGAZINE HOUSE MOOK

暖かなダイニングで、おいしいものとちょっとワイン。



森の散策からホテルに戻ると、暖炉の傍のディナーが待つ。メープルサーモンのリエットや口溶けの良いヤリイカのファンダンの前菜と、晩秋から冬が旬のイトヨリとアサリのメインディッシュ。



ずっとしたかった、景色のいい窓辺でゆっくり読書。

北欧デザインの家具やファブリックが、まるで自宅のリビングにいるかのように落ち着く〈ホテル アルト〉のラウンジ空間。窓の外には天然の庭園——深い森が広がる。

敷地内に湧く源泉の湯は加水、加温せず、
大地の力がそのまま湧き出したかのよう。
檜の香りが清々しい、窓のない湯殿が、〈ホ
テリアアルト〉の露天風呂。この湯が
忘れられずに再訪する客も多い。



肌を滑るやさしい湯と木漏れ日に、時間を忘れる午後。





DATA

◎福島県耶麻郡北塩原村大字檜原字大府
平1073-153 全13室 2名1室利用
(1泊2食付き) 1名28,000円〜。滞在
中の飲みものはオールインクルーシブ。
夜食が届くお楽しみも。http://www.
hotelliaalto.com



上・4つの岩で囲んだ暖炉を中心に、森を間近に感じるダイニング。
右上・具沢山のお味噌汁や地鶏の
卵の和朝食。ほか野菜やフルーツ
たっぷりの朝のご馳走がビュッ
フェに並ぶ。右下・サイダーや地元
牛乳を湯上がりに。左下・ホテル
は山靴やストールなど森散策用の
小物を用意する。下・どの部屋も
裏磐梯の景色に臨むロケーション。



ホテル アアルト

Hotelli Aalto

☎0241-23-5100 | 裏磐梯

森林の中にひっそり佇む
北欧テイストのホテルの休日。

ホテルスタッフが「森と敷地の境界はわからない」と笑うほど、裏磐梯の自然に溶け込む「ホテルアアルト」。磐梯朝日国立公園内のホテルを、ホテルを意味する「フィンランド語の「ホテリ」、波「アアルト」と名付けたのは、森林との調和に長けた北欧文化との共通点をこの地に見出したからだ。築40年の山荘をリニューアルしたホテルの建物は、杉や檜、敷地内の石など地元の素材をふんだんに使った木造建築。木立になじむ外観だけでなく、風や光を屋内に取り込む工夫や、湯上がりの素足に心地よい白木の床など、滞在者へのこまやかな気配りが随所に生きる。客室やロビーに配す北欧テイストの家具も森の建築によくなじむ。森林の清涼な空気と檜の香りが溶けあう半露天風呂も、滞在の大きな

魅力。敷地内に湧き出る源泉掛け流しの湯を存分に味わいたい。寒暖の差や高原の霧、豊かな水がおいしい野菜や米を育む裏磐梯の、地元食材を丁寧に仕上げる朝夕の食事もお忘れがたい。ディナーは繊細な創作フルコース。朝食は味噌や自家製のぬか漬けなど、郷土の風味満載の和食と、ライ麦トーストによく合う洋食の目移りするほど豊富な料理がダイニングの暖炉の周りのビュッフェに並ぶ。温かな朝食でお腹と気力を満たしたら、森の散策に出かけよう。湧き水を温めた敷地内の二つの沼はエメラルドグリーンの光を放つ。沼も森も目にするものはすべて、自然の生態系そのまま。秋から冬の散策用に、山靴やストールを庭の出入り口にそっと置く。ホテルの心配りも心に染みる。





日本の宿へ。

いいお湯と、自然の匂いの恵みの心づくして待つ、
日本ならではの宿で、ほうっと一息。
でもそれだけじゃない。リラックスした心と体に染みる
初めての景色や体験が、あなたを待っているはず。
日本の旅は、明日の私をきれいにしてくれる。

photo : Kenya Abe styling : Mari Nagasaka edit & text : Chiyo Sagae

森の中の、大きな三角屋根の〈ホテル
アアルト〉。この辺りは、冬には1階部
分は雪ですっぽり覆われるという豪雪地
帯。だからこそ、長い時間を屋内で過
す北欧の知恵と文化が上手に生かされる。

Hanako®
TRIP

ほっとする。きれいになる。

心なごむ、